



2019年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月13日

上場会社名 昭和パックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3954 URL <http://www.showa-paxxs.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 亮
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 飯崎 充 TEL 03-3269-5111
 定時株主総会開催予定日 2019年6月27日 配当支払開始予定日 2019年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	21,819	5.0	1,522	9.3	1,669	9.7	1,154	12.5
2018年3月期	20,771	3.9	1,393	16.6	1,521	17.1	1,026	18.2

(注) 包括利益 2019年3月期 538百万円 (△71.5%) 2018年3月期 1,892百万円 (3.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	260.07	-	7.5	6.4	7.0
2018年3月期	231.13	-	7.1	6.1	6.7

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 -百万円 2018年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	26,222	16,143	59.5	3,512.81
2018年3月期	25,982	15,771	58.8	3,440.08

(参考) 自己資本 2019年3月期 15,597百万円 2018年3月期 15,274百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	1,932	△337	△678	6,643
2018年3月期	1,997	△503	△620	5,733

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	-	15.00	-	19.00	34.00	150	14.7	1.0
2019年3月期	-	17.00	-	21.00	38.00	168	14.6	1.1
2020年3月期(予想)	-	19.00	-	19.00	38.00		15.1	

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,000	1.9	700	△1.5	760	△2.4	525	△3.1	118.24
通期	22,000	0.8	1,500	△1.5	1,630	△2.3	1,120	△3.0	252.25

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2019年3月期	4,450,000株	2018年3月期	4,450,000株
2019年3月期	9,961株	2018年3月期	9,959株
2019年3月期	4,440,040株	2018年3月期	4,440,041株

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	16,280	5.1	793	8.6	1,005	7.7	705	10.4
2018年3月期	15,497	1.7	730	10.1	933	12.5	639	14.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	159.00	-
2018年3月期	144.00	-

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	%	円 銭	
2019年3月期	21,532		12,802	59.5	2,883.41			
2018年3月期	21,646		12,721	58.8	2,865.14			

(参考) 自己資本 2019年3月期 12,802百万円 2018年3月期 12,721百万円

2. 2020年3月期の個別業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期（累計）	8,200	1.9	400	△3.9	287	△3.4	64.64	
通期	16,500	1.3	985	△2.0	690	△2.3	155.40	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、業績の変化等により、上記の予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は添付資料を参照してください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	4
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
(4) 事業等のリスク	5
2. 企業集団の状況	6
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	7
4. 連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 連結貸借対照表	8
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	10
連結損益計算書	10
連結包括利益計算書	11
(3) 連結株主資本等変動計算書	12
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	14
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	16
(継続企業の前提に関する注記)	16
(表示方法の変更)	16
(セグメント情報等)	16
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19
5. 個別財務諸表	20
(1) 貸借対照表	20
(2) 損益計算書	22
(3) 株主資本等変動計算書	23
6. その他	25
(1) 役員の異動	25
(2) その他	25

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する分析

当連結会計年度(2018年4月1日～2019年3月31日)における我が国経済は、実質GDPが、4～6月に2四半期ぶりにプラス成長となった後、相次いだ自然災害の影響で7～9月期は大幅なマイナス成長となり、10～12月期は災害の影響が一巡してプラス成長に復帰したものの、7～9月期の落込みを取戻すには至らず、2019年に入って輸出がさらに弱含んで、やや力強さに欠ける展開になりました。

当連結会計年度中の世界経済を見ますと、米国経済は減税効果もあって堅調に推移しましたが、年度末にかけて減速の兆しも見えてきました。中国では米中貿易摩擦や過剰債務への対応などで投資が冷え込んで景気が減速、その影響がアジア諸国や英国のEU離脱問題を抱える欧州の一部にも及んで、世界経済は徐々に減速の気配が強まりつつあります。

日本経済の企業部門は、外需は弱い状態が続きましたが、堅調な内需に支えられて売上高は10～12月期まで5四半期連続で増加しています。しかし、経常利益は、4～6月期に大きく増えた反動に、原油値上がり等による変動費の増加が加わって、依然高水準は維持しているものの7～9月期、10～12月期と2四半期連続で減少しました。

設備投資は、老朽化した設備の維持更新や深刻化する人手不足に対応するための合理化・省力化投資のニーズが強く増加基調で推移しましたが、外需の低迷を受けて足元では慎重さを増しています。

個人消費は、歴史的低水準にある失業率、増加傾向が続く実質賃金という堅調な雇用・所得環境を背景に、緩やかな回復が続きました。

ただ、年度後半になって、世界経済、特に中国を中心としたアジア経済の需要の減少が目立ち始めて我が国の輸出を下押しし、一方で堅調な内需と原油高で輸入が増加したため、2018年暦年の貿易収支は赤字となりました。

2019年に入り輸出がさらに減速したため、景気悪化の観測が出てきていますが、一方で、中国経済が政府の景気下支え策効果で持ち直して外需が上向くことを期待、国内では企業の設備投資が前向きなスタンスは変わっておらず、雇用・所得環境も堅調なことから、先行きで景気が大きく腰折れする可能性は小さいとの見方もあります。

当社グループの主要事業は、国内の素材産業や農産物の生産動向に大きく影響される産業用包装資材の製造・販売です。当連結会計年度の当社グループは、国内の素材産業の生産がおおむね順調だったこと、原材料値上がりの影響の抑制に努めたこと、海外事業の好調が続いたこと、営業外収支が良化し特別損失が減少したことで、前期比で増収増益の結果となりました。

連結売上高は21,819百万円で前期比1,048百万円の増収でした。損益では、営業利益1,522百万円(前期比129百万円の増益)、経常利益1,669百万円(同147百万円の増益)、親会社株主に帰属する当期純利益1,154百万円(同128百万円の増益)となりました。

当社単独では売上高16,280百万円(前期比783百万円の増収)、営業利益793百万円(同62百万円の増益)、経常利益1,005百万円(同71百万円の増益)、当期純利益705百万円(同66百万円の増益)でした。

連結子会社の概況は次のとおりであります。

タイ昭和パックス㈱は会計期間が1-12月ですが、受注・製造ともに好調が続き6期連続でクラフト紙袋の販売数量を伸ばしました。九州紙工㈱は米麦袋、一般袋ともに数量を伸ばして増収増益でした。㈱ネスコは各種商材の取引を拡大して増収でしたが、高採算商品の売上が減少し減益でした。山陰製袋工業㈱、山陰パックス㈱の二社は会計期間が1-12月で、米袋の数量は前年から若干減少しましたが、一般袋の受注を大きく増やして増収増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

○重包装袋

重包装袋セグメントの主力製品であるクラフト紙袋の当連結会計年度の業界全体の出荷数量(ゴミ袋を除く)は前期に対し0.7%の減少となりました。米麦袋は米の集荷包装形態の変化による減少が、幅は縮小したものの当年度も続いて、前期比△2.3%でした。このほか、砂糖・甘味用途が5.1%の大幅減少、合成樹脂、農水産物、飼料等の用途も減少しました。増加は、その他食品、その他鉱産物、澱粉、肥料等の用途でした。

その中で、当社のクラフト紙袋の売上数量(ゴミ袋を除く)は前期比で△0.2%の微減でした。業界と同様に、米麦袋と主力の合成樹脂が減少しましたが、化学薬品、製粉、砂糖・甘味、その他鉱産物等の増加で補いました。

ポリエチレン重袋の売上数量は4.7%減少、中型袋も2.5%減少しました。

タイ昭和パックス㈱のクラフト紙袋は、国内、輸出ともに順調で、今期も売上数量を7.7%伸ばしました。九州紙工㈱は主力の米袋のほか、一般袋の受注を大きく増やし、売上数量は前期比+7.7%でした。山陰製袋工業は米袋の数量を僅かに減らしましたが、既存・新規取引先からの一般袋の注文を積極的に取込み、売上数量を前期比で4.5%伸ばしました。

なお、当連結会計年度中、主たる原材料であるクラフト紙が夏場以降に大きく値上がりして業界の損益に大きく影響、当社グループもその対応に苦慮しました。

当セグメントの連結売上高は13,679百万円で、前期に対して227百万円の増収になりました。

○フィルム製品

当連結会計年度における低密度ポリエチレンフィルム製品の業界の出荷数量は、産業用、農業用、いずれも前期比で増加しました。

その中で当社のフィルム製品の売上数量は、産業用は前期比で7.0%の増加、農業用は3.3%の増加で、合計では5.6%の増加となりました。産業用では、マスキングフィルム用のHQFや、発泡フィルム、アスベスト隔離シート等が伸びました。農業用では昨年不振だった沖縄向け農業フィルムが少し回復したほか、牧草フィルム、強化ポリエチレンフィルム等が伸びました。原材料であるポリエチレン樹脂とポリスチレン樹脂は、価格が変動し、年度前半は上昇しましたが、終盤は値下がり傾向となりました。

当セグメントの連結売上高は3,941百万円で、前期に対して283百万円の増収でした。

○コンテナ

粒状内容物のバルク輸送用ワンウェイ・フレコンの業界の出荷量は、国内生産品、海外生産品ともに窯業土石品、食品、飼料用途が前期より増加、合成樹脂用途が減少し、全体ではやや減少した見込みです。しかし海外からの輸入の全体量は前期比で増加しています。

当社のワンウェイ・フレコンの売上数量は、前期の失注分を取戻して22.5%の大幅増加となりました。大型ドライコンテナ用インナーバッグ「バルコン」は前期比減少となりました。液体輸送用は、1,000ℓポリエチレンバッグ「エスキューブ」が順調に数量を伸ばし、液体輸送用コンテナライナー「エスタンク」も年度後半に数量を伸ばして通期では増加となりました。

当セグメントの連結売上高は2,048百万円で、前期に対して340百万円の増収でした。

○不動産賃貸

賃貸用不動産の内容に大きな変動はありません。当セグメントの連結売上高は263百万円で、前期から横ばいでした。

次期につきましては、景気減速の気配が徐々に強まっており、景気の動向は当社グループの顧客の生産活動に直結するため、楽観はできません。また当社グループにとっては原材料価格の動向が損益に大きく影響しますが、原材料環境も予測が困難な状況にあります。

このように、次期も当社グループの事業環境は容易なものとは言えませんが、将来を見据えた設備投資を含め、グループ全体で取引の維持拡充と適切な利益の確保に努めてまいります。

当社グループの次期の業績は、売上高22,000百万円(伸長率0.8%)、営業利益1,500百万円(伸長率△1.5%)、経常利益1,630百万円(伸長率△2.3%)、親会社株主に帰属する当期純利益1,120百万円(伸長率△3.0%)を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

1) 資産、負債、純資産の状況

当連結会計年度末の当社グループの総資産は26,222百万円で、前連結会計年度末に比べて239百万円増加しました。主な増加要因は現金及び預金909百万円、受取手形及び売掛金245百万円および電子記録債権113百万円、主な減少要因は有形固定資産250百万円および投資有価証券671百万円です。

負債合計は10,078百万円で、前連結会計年度末に比べ132百万円減少しました。主な増加要因は支払手形及び買掛金398百万円および電子記録債務114百万円、主な減少要因は短期借入金610百万円および繰延税金負債299百万円です。

純資産合計は16,143百万円で、前連結会計年度末に比べて371百万円増加しています。主な増加要因は利益剰余金994百万円、主な減少要因はその他有価証券評価差額金475百万円および退職給付に係る調整累計額173百万円です。

2) キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金および現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて910百万円増加の6,643百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は1,932百万円（前期比65百万円の収入減）となりました。この主な内訳は、税金等調整前当期純利益1,660百万円、減価償却費554百万円および法人税等の支払445百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は337百万円（同165百万円の支出減）となりました。この主な内訳は、有形固定資産の取得による支出321百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は678百万円（同57百万円の支出増）となりました。この主な内訳は、短期借入金の純減による支出495百万円および配当金支払による支出159百万円です。

	2015年3月	2016年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月
自己資本比率 (%)	52.2	53.4	57.1	58.8	59.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	20.3	19.9	26.2	30.0	28.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	2.4	1.7	1.8	1.1	0.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ	26.6	51.4	58.9	107.6	122.0

※計算式及び算出に利用した数字のベース

	計算式
自己資本比率	自己資本／総資産
時価ベースの自己資本比率	株式時価総額／総資産
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	有利子負債／キャッシュ・フロー
インタレスト・カバレッジ・レシオ	キャッシュ・フロー／利払い

注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主に対する利益還元を経営の重要政策の一つとして認識しており、安定的な経営基盤の確保と株主資本利益率の向上に努めるとともに、配当についても安定的に継続して実施することを基本としております。

内部留保金については、財務体質の健全性を維持強化しつつ、設備投資や新規事業、研究開発等に活用して将来の成長につなげていくことで株主のご期待にお応えしてまいります。

当期の剰余金処分につきましては、2019年6月27日開催の第123期定時株主総会にて、1株につき普通配当21円とする提案を行う予定としております。これにより中間配当金17円を加えた年間配当金は1株につき38円となります。

剰余金の配当に関する上記の基本方針については特段の変更の予定はありません。次期も年間配当金を1株につき38円とする予定で臨みます。

(4) 事業等のリスク

以下に、当社グループの事業展開上のリスクとなる可能性があると考えられる主な要因を記載しております。

当社グループは、これらのリスク発生の可能性を認識した上で、発生の回避および発生した場合の対応に努める方針であります。当社株式に関する投資判断は、以下の特別記載事項および本項以外の記載事項を慎重に検討した上で行われる必要があると考えます。また、以下の記載は当社株式への投資に関連するリスク全てを網羅するものではありませんので、ご留意下さい。なお、将来に関する事項の判断時点は期末日現在であります。

○為替変動の影響について

当社グループの事業、業績および財務状況は、為替相場の変動によって影響を受けます。タイ昭和パックス㈱における売上、費用、資産を含む現地通貨建ての項目は、連結財務諸表作成のために円換算されております。換算時の為替レートにより、これらの項目は元の現地通貨における価値が変わらずとも円換算後の価値が影響を受ける可能性があります。また、為替動向は外貨建てで取引されている製品価格および売上高にも影響与える可能性があります。

○原材料の市況変動の影響について

当社の重包装袋セグメントではクラフト紙、フィルム製品セグメントではレジン（ポリエチレン・ポリスチレン樹脂）を主要な原材料として使用しております。この原材料価格が今後上昇した場合は、当社の業績に悪影響が及ぶことが危惧されます。

○法的規制変更の影響について

当社グループが事業を展開する国および地域において、当社グループは、予想外の規制の変更、法令の適用および行政の運用における不透明性ならびに法的責任にかかる不透明性に関連する多様なリスクにさらされています。当社グループが事業を展開する国および地域における規制または法令の重要な変更は、当社グループの事業、業績および財務状況に悪影響を与える可能性があります。

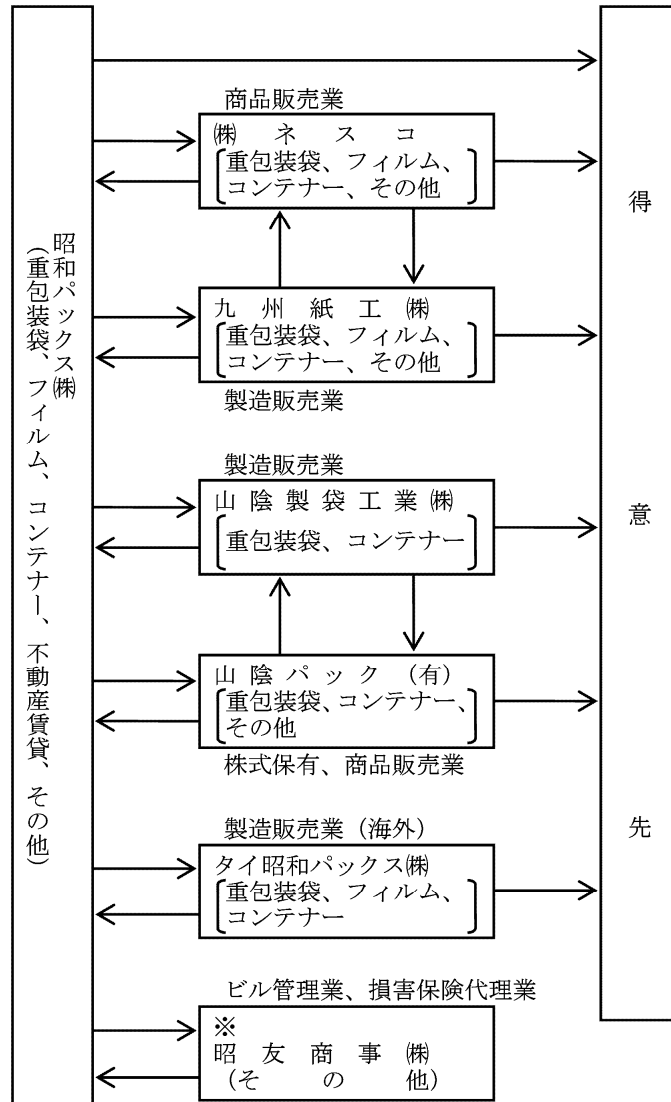
また、当社グループの事業は、大気汚染、水質汚濁、有害物質の使用および取扱い、廃棄物処理、製品リサイクルならびに土壌、地下水汚染を規制する様々な環境法令の適用を受けております。過去、現在および将来の製造に関し、当社グループは環境責任のリスクを抱えております。将来、環境に関する規制がより厳しくなり、有害物質等を除去する義務がさらに追加された場合には、これにかかる費用が当社グループの事業、業績および財務上に悪影響を与える可能性があります。

○災害発生の場合の影響について

地震、台風、火災等の自然災害、事故災害が発生した場合、当社グループの拠点の設備等が損壊し、その一部または全部の操業が中断して生産および出荷が遅延する可能性があります。また、損壊した設備等の修復に多額の費用が必要となつて、当社グループの事業、業績および財務状況に重大な影響を及ぼす可能性があります。

2. 企業集団の状況

当社グループは、昭和パックス株式会社（当社）と子会社合計6社により構成されています。その主な事業内容は重包装袋、フィルム製品、コンテナ、その他包装関連製品・商品等の製造・販売並びに不動産の賃貸等であります。グループ構成を図示すると次の通りであります。



(注) 無印 連結子会社
 ※ 非連結子会社で持分法非適用会社

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは海外での事業展開は行っておりますが、海外での資金調達を行っておりませんので、当面は日本基準の適用を継続していく予定です。しかしながら、今後の事業展開や資金調達の状況変化により、IFRSの適用が必要かどうかについては検討を進めてまいります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,114,368	7,023,869
受取手形及び売掛金	6,516,095	6,762,018
電子記録債権	383,507	497,366
商品及び製品	1,091,101	1,080,369
仕掛品	120,662	129,625
原材料及び貯蔵品	1,039,563	1,054,753
その他	257,169	261,133
貸倒引当金	△10,872	△11,376
流動資産合計	15,511,596	16,797,758
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,696,978	7,772,589
減価償却累計額	△5,560,098	△5,723,403
建物及び構築物(純額)	2,136,880	2,049,186
機械装置及び運搬具	9,864,002	9,949,253
減価償却累計額	△8,470,978	△8,702,638
機械装置及び運搬具(純額)	1,393,024	1,246,615
土地	882,839	880,730
リース資産	32,230	-
減価償却累計額	△26,470	-
リース資産(純額)	5,759	-
建設仮勘定	8,420	15,275
その他	811,587	824,692
減価償却累計額	△719,214	△747,506
その他(純額)	92,373	77,185
有形固定資産合計	4,519,297	4,268,993
無形固定資産		
ソフトウェア	26,274	9,835
電話加入権	9,230	9,230
無形固定資産合計	35,504	19,065
投資その他の資産		
投資有価証券	5,204,558	4,532,757
退職給付に係る資産	557,767	457,915
繰延税金資産	38,774	47,588
その他	124,453	107,158
貸倒引当金	△9,110	△9,110
投資その他の資産合計	5,916,443	5,136,310
固定資産合計	10,471,245	9,424,369
資産合計	25,982,842	26,222,128

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,518,684	3,917,073
電子記録債務	1,545,725	1,660,072
短期借入金	2,142,000	1,531,300
未払法人税等	250,324	274,966
賞与引当金	373,887	377,858
役員賞与引当金	19,160	19,440
設備関係支払手形	13,430	2,475
営業外電子記録債務	30,294	31,013
その他	695,742	664,573
流動負債合計	8,589,248	8,478,773
固定負債		
長期借入金	1,000	99,000
繰延税金負債	1,112,863	813,547
役員退職慰労引当金	86,853	104,684
環境対策引当金	13,028	5,119
退職給付に係る負債	224,802	397,679
資産除去債務	6,995	6,995
長期預り保証金	176,292	173,063
固定負債合計	1,621,835	1,600,089
負債合計	10,211,084	10,078,862
純資産の部		
株主資本		
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
利益剰余金	11,767,908	12,762,802
自己株式	△9,437	△9,441
株主資本合計	12,688,817	13,683,708
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,246,889	1,770,946
為替換算調整勘定	187,982	165,055
退職給付に係る調整累計額	150,395	△22,694
その他の包括利益累計額合計	2,585,267	1,913,307
非支配株主持分	497,672	546,249
純資産合計	15,771,757	16,143,265
負債純資産合計	25,982,842	26,222,128

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	20,771,046	21,819,120
売上原価	16,768,717	17,661,372
売上総利益	4,002,328	4,157,748
販売費及び一般管理費	2,608,993	2,635,134
営業利益	1,393,334	1,522,614
営業外収益		
受取利息	3,476	4,705
受取配当金	109,766	122,762
為替差益	3,444	13,201
その他	31,398	21,839
営業外収益合計	148,086	162,509
営業外費用		
支払利息	17,382	13,947
その他	2,558	2,046
営業外費用合計	19,940	15,994
経常利益	1,521,480	1,669,129
特別利益		
固定資産売却益	-	740
特別利益合計	-	740
特別損失		
固定資産除却損	566	9,730
環境対策引当金繰入額	12,232	-
環境対策費	17,367	-
特別損失合計	30,165	9,730
税金等調整前当期純利益	1,491,314	1,660,139
法人税、住民税及び事業税	437,192	466,435
法人税等調整額	△28,366	△21,091
法人税等合計	408,826	445,343
当期純利益	1,082,488	1,214,795
非支配株主に帰属する当期純利益	56,283	60,060
親会社株主に帰属する当期純利益	1,026,204	1,154,735

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	1,082,488	1,214,795
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	556,784	△477,378
為替換算調整勘定	122,082	△25,473
退職給付に係る調整額	131,220	△173,090
その他の包括利益合計	810,087	△675,942
包括利益	1,892,575	538,853
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,823,388	482,775
非支配株主に係る包括利益	69,187	56,077

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	640,500	289,846	10,879,345	△9,437	11,800,254
当期変動額					
剰余金の配当			△137,641		△137,641
親会社株主に帰属する当期純利益			1,026,204		1,026,204
自己株式の取得					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	888,563	-	888,563
当期末残高	640,500	289,846	11,767,908	△9,437	12,688,817

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額		
当期首残高	1,690,800	78,107	19,175	434,542	14,022,880
当期変動額					
剰余金の配当					△137,641
親会社株主に帰属する当期純利益					1,026,204
自己株式の取得					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	556,088	109,874	131,220	63,130	860,313
当期変動額合計	556,088	109,874	131,220	63,130	1,748,877
当期末残高	2,246,889	187,982	150,395	497,672	15,771,757

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	640,500	289,846	11,767,908	△9,437	12,688,817
当期変動額					
剰余金の配当			△159,841		△159,841
親会社株主に帰属する当期純利益			1,154,735		1,154,735
自己株式の取得				△3	△3
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	994,894	△3	994,890
当期末残高	640,500	289,846	12,762,802	△9,441	13,683,708

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額		
当期首残高	2,246,889	187,982	150,395	497,672	15,771,757
当期変動額					
剰余金の配当					△159,841
親会社株主に帰属する当期純利益					1,154,735
自己株式の取得					△3
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△475,942	△22,926	△173,090	48,576	△623,382
当期変動額合計	△475,942	△22,926	△173,090	48,576	371,507
当期末残高	1,770,946	165,055	△22,694	546,249	16,143,265

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,491,314	1,660,139
減価償却費	596,469	554,568
長期前払費用償却額	819	816
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,320	539
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,753	3,971
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	2,000	280
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△5,927	△5,277
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,906	27,027
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△12,795	17,830
受取利息及び受取配当金	△113,243	△127,468
支払利息	17,382	13,947
有形固定資産除却損	566	9,730
固定資産売却損益(△は益)	-	△740
売上債権の増減額(△は増加)	△805,849	△365,060
たな卸資産の増減額(△は増加)	76,279	△20,190
仕入債務の増減額(△は減少)	845,857	507,305
退職給付に係る調整累計額の増減額(△は減少)	83,914	1,646
その他の流動資産の増減額(△は増加)	8,710	△2,683
その他の流動負債の増減額(△は減少)	126,237	△20,854
その他	7,906	10,117
小計	2,329,624	2,265,646
利息及び配当金の受取額	113,243	127,468
利息の支払額	△18,569	△15,840
法人税等の支払額	△426,868	△445,180
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,997,430	1,932,093
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△462,099	△380,075
定期預金の払戻による収入	392,013	379,086
有形固定資産の取得による支出	△415,791	△321,028
無形固定資産の取得による支出	△1,480	-
固定資産の売却による収入	-	740
投資有価証券の取得による支出	△15,962	△16,265
投資活動によるキャッシュ・フロー	△503,319	△337,542

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△456,000	△495,100
リース債務の返済による支出	△4,834	-
長期借入金の返済による支出	△16,000	△126,000
長期借入れによる収入	-	110,000
自己株式の取得による支出	-	△3
配当金の支払額	△137,641	△159,841
非支配株主への配当金の支払額	△6,057	△7,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△620,533	△678,445
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,067	△5,860
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	892,644	910,244
現金及び現金同等物の期首残高	4,840,903	5,733,548
現金及び現金同等物の期末残高	5,733,548	6,643,793

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは産業用包装資材およびその周辺事業を国内外にて展開しております。経営管理においては、当社および当社の関連会社を取り扱う製品・商品・サービスを、その機能・形状・素材によって、重包装袋、フィルム製品、コンテナおよび不動産賃貸に区分し、区分ごとの損益集計および戦略立案を行っております。

この状況を踏まえ、当社はマネジメント・アプローチに基づいて、「重包装袋」「フィルム製品」「コンテナ」「不動産賃貸」の4つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益(負ののれん償却前)ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	13,451,190	3,657,507	1,708,597	263,185	19,080,481	1,690,565	20,771,046
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	13,451,190	3,657,507	1,708,597	263,185	19,080,481	1,690,565	20,771,046
セグメント利益	1,271,856	207,739	20,017	153,239	1,652,853	125,449	1,778,302
セグメント資産	13,233,418	3,165,910	1,370,001	783,297	18,552,628	1,441,270	19,993,898
その他の項目							
減価償却費	390,157	82,085	19,801	51,283	543,327	14,732	558,060
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	244,893	24,844	1,180	1,560	272,478	933	273,412

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	13,679,000	3,941,173	2,048,750	263,076	19,932,001	1,887,119	21,819,120
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	13,679,000	3,941,173	2,048,750	263,076	19,932,001	1,887,119	21,819,120
セグメント利益	1,353,015	224,428	26,440	154,309	1,758,193	121,616	1,879,809
セグメント資産	13,487,753	3,372,702	1,616,401	742,478	19,219,336	1,662,405	20,881,742
その他の項目							
減価償却費	373,411	69,867	17,186	47,678	508,143	14,095	522,238
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	271,869	26,774	5,483	6,859	310,986	420	311,406

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	19,080,481	19,932,001
「その他」の区分の売上高	1,690,565	1,887,119
連結財務諸表の売上高	20,771,046	21,819,120

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,652,853	1,758,193
「その他」の区分の利益	125,449	121,616
全社費用(注)	△384,967	△357,195
連結財務諸表の営業利益	1,393,334	1,522,614

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	18,552,628	19,219,336
「その他」の区分の資産	1,441,270	1,662,405
全社資産(注)	6,148,672	5,340,385
連結財務諸表の資産合計	26,142,570	26,222,128

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない投資有価証券等であります。

(単位:千円)

その他項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	543,327	508,143	14,732	14,095	38,409	32,329	596,469	554,568
有形固定資産および無形固定資産の増加額	272,478	310,986	933	420	740	533	274,152	311,939

(注) 有形固定資産および無形固定資産の増加額の調整額は、本社システムの投資額等であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	アジア	その他	合計
18,093,325	2,667,693	10,027	20,771,046

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 「アジア」の金額は、日本を除いたアジア地域の売上高であります。

(2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	タイ国	合計
3,701,245	818,052	4,519,297

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	アジア	その他	合計
19,040,706	2,765,896	12,518	21,819,120

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 「アジア」の金額は、日本を除いたアジア地域の売上高であります。

(2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	タイ国	合計
3,536,701	732,291	4,268,993

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)		当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
1株当たり純資産額	3,440円 08銭	1株当たり純資産額	3,512円 81銭
1株当たり当期純利益金額	231円 13銭	1株当たり当期純利益金額	260円 07銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	1,026,204	1,154,735
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益金額(千円)	1,026,204	1,154,735
期中平均株式数(株)	4,440,041	4,440,040

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,438,792	4,897,186
受取手形	689,662	631,184
電子記録債権	376,080	480,850
売掛金	4,751,069	4,952,290
商品及び製品	792,423	835,455
仕掛品	91,740	87,866
原材料及び貯蔵品	591,811	574,350
前払費用	25,478	24,716
未収入金	198,707	195,241
その他	18,259	16,925
貸倒引当金	△802	△627
流動資産合計	11,973,225	12,695,442
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,565,283	1,522,170
構築物	123,369	121,286
機械及び装置	775,408	658,620
車両運搬具	30,776	34,481
工具、器具及び備品	58,275	49,303
土地	373,629	373,468
建設仮勘定	2,347	9,272
有形固定資産合計	2,929,089	2,768,603
無形固定資産		
ソフトウェア	24,123	9,183
電話加入権	6,766	6,766
無形固定資産合計	30,889	15,949
投資その他の資産		
投資有価証券	5,098,493	4,444,670
関係会社株式	1,075,719	1,075,719
長期前払費用	476,882	468,790
その他	67,340	68,799
貸倒引当金	△5,610	△5,610
投資その他の資産合計	6,712,825	6,052,370
固定資産合計	9,672,805	8,836,923
資産合計	21,646,030	21,532,365

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	139,837	104,963
電子記録債務	1,595,604	1,707,788
買掛金	2,874,071	3,247,104
短期借入金	1,635,000	1,180,000
未払金	96,063	122,383
未払費用	335,717	332,833
未払法人税等	161,995	194,753
未払消費税等	89,870	53,182
賞与引当金	344,110	347,305
役員賞与引当金	16,720	17,000
設備関係支払手形	6,950	2,475
営業外電子記録債務	30,294	31,013
その他	56,542	47,787
流動負債合計	7,382,778	7,388,591
固定負債		
退職給付引当金	255,166	275,647
役員退職慰労引当金	65,806	79,890
環境対策引当金	13,028	5,119
資産除去債務	5,439	5,439
長期預り保証金	176,292	173,063
繰延税金負債	1,026,189	802,140
固定負債合計	1,541,921	1,341,300
負債合計	8,924,700	8,729,892
純資産の部		
株主資本		
資本金	640,500	640,500
資本剰余金		
資本準備金	289,846	289,846
資本剰余金合計	289,846	289,846
利益剰余金		
利益準備金	160,125	160,125
その他利益剰余金		
配当平均積立金	532,804	603,845
固定資産圧縮積立金	374,395	355,969
別途積立金	7,330,000	7,630,000
繰越利益剰余金	1,197,724	1,391,263
利益剰余金合計	9,595,048	10,141,203
自己株式	△9,437	△9,441
株主資本合計	10,515,957	11,062,108
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,205,372	1,740,364
評価・換算差額等合計	2,205,372	1,740,364
純資産合計	12,721,329	12,802,473
負債純資産合計	21,646,030	21,532,365

(2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	15,497,191	16,280,607
売上原価	12,737,490	13,451,481
売上総利益	2,759,701	2,829,125
販売費及び一般管理費	2,029,086	2,035,781
営業利益	730,615	793,344
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	156,886	176,472
その他	61,310	47,423
営業外収益合計	218,196	223,895
営業外費用		
支払利息	9,020	7,076
その他	6,556	5,045
営業外費用合計	15,577	12,122
経常利益	933,234	1,005,117
特別損失		
固定資産除却損	566	9,045
環境対策引当金繰入額	12,232	-
環境対策費	17,367	-
特別損失合計	30,165	9,045
税引前当期純利益	903,069	996,072
法人税、住民税及び事業税	289,643	310,042
法人税等調整額	△25,933	△19,966
法人税等合計	263,710	290,076
当期純利益	639,358	705,996

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金	利益剰余金					利益剰余金 合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金				
				配当平均 積立金	固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	640,500	289,846	160,125	497,293	393,434	7,030,000	1,012,477	9,093,330
当期変動額								
剰余金の配当							△137,641	△137,641
当期純利益							639,358	639,358
配当平均積立金の積立				35,511			△35,511	-
固定資産圧縮積立金の 取崩					△19,039		19,039	-
別途積立金の積立						300,000	△300,000	-
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	35,511	△19,039	300,000	185,246	501,717
当期末残高	640,500	289,846	160,125	532,804	374,395	7,330,000	1,197,724	9,595,048

	株主資本		評価・換算 差額等	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証 券評価差額金	
当期首残高	△9,437	10,014,239	1,656,020	11,670,260
当期変動額				
剰余金の配当		△137,641		△137,641
当期純利益		639,358		639,358
配当平均積立金の積立		-		-
固定資産圧縮積立金の 取崩		-		-
別途積立金の積立		-		-
自己株式の取得	-	-		-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			549,351	549,351
当期変動額合計	-	501,717	549,351	1,051,069
当期末残高	△9,437	10,515,957	2,205,372	12,721,329

当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				利益剰余金 合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金				
				配当平均 積立金	固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	640,500	289,846	160,125	532,804	374,395	7,330,000	1,197,724	9,595,048
当期変動額								
剰余金の配当							△159,841	△159,841
当期純利益							705,996	705,996
配当平均積立金の積立				71,041			△71,041	-
固定資産圧縮積立金の 取崩					△18,425		18,425	-
別途積立金の積立						300,000	△300,000	-
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	71,041	△18,425	300,000	193,539	546,154
当期末残高	640,500	289,846	160,125	603,845	355,969	7,630,000	1,391,263	10,141,203

	株主資本		評価・換算 差額等	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証 券評価差額金	
当期首残高	△9,437	10,515,957	2,205,372	12,721,329
当期変動額				
剰余金の配当		△159,841		△159,841
当期純利益		705,996		705,996
配当平均積立金の積立		-		-
固定資産圧縮積立金の 取崩		-		-
別途積立金の積立		-		-
自己株式の取得	△3	△3		△3
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			△465,007	△465,007
当期変動額合計	△3	546,151	△465,007	81,143
当期末残高	△9,441	11,062,108	1,740,364	12,802,473

6. その他

(1) 役員の変動

役員の変動については2019年4月24日に別途開示しております。

(2) その他

該当事項はありません。